

都内水上交通の魅力向上に資する動画コンテンツの活用方策に関する研究

—水上交通事業者が投稿した Web 公開動画にみる景観分類—

A Study on the Utilization Strategy of Video Contents that Contribute to Improve the Attractiveness of Water Traffic in Tokyo
- Maritime-scape classification for video released by water traffic companies -○三浦みなみ¹, 岡田智秀², 田島洋輔², 大滝一步¹*Minami Miura¹, Tomohide Okada², Yousuke Tajima², Kazuho Otaki¹

Abstract: The purpose of this paper is to clarify the utilization strategy of video contents that contribute to improving in the water traffic attractiveness of Tokyo. This paper clarified twelve video contents types of maritime-scape in Tokyo waterfront.

1. 研究目的; 本研究は、海上を移動しながら都市観光を楽しめる都内水上交通の魅力向上に資する Web 公開動画の活用方策を明らかにするものである。これまで筆者らの先行研究^{1), 2)}では写真画像を対象に魅力的な海上景観やその構図特性について明らかにしてきた。しかし、近年の新型感染症による外出抑制に伴い急速なニーズの高まりがみられる動画コンテンツに着目した分析は行われていない。そこで本稿では、都内水上交通の魅力向上に資する Web 公開動画の活用方策を導出するため、都内水上交通事業者の公開動画に着目し、その景観要素や撮影手法等の特徴を明らかにする。

2. 研究方法; 本稿では、表1に示す10年以上と長期運営される都内水上交通事業者4社³⁾の Web 公開動画(全245件)のうち、水上交通事業に無関係な動画や事業者の投稿目的が不明な動画を除く「調査動画(205件)」を対象に、表2に示す調査・分析を行った。

3. 結果および考察; 上述した「調査動画(205件)」を撮影対象数や公開意図により「単一撮影型」と「複合作型」に分類した。このうち本稿では、「単一撮影型(159件)」に着目し、編集構成や撮影方法等の特徴を表3に示した。以降は、これをもとに考察する。

(1) 船舶景観; 表3より、この景観分類は海や河川を

表1 調査対象事業者と公開動画数 [筆者作成]

No.	事業者名	動画数 (割合)	運航開始年
1	(株)ケーエムシーコーポレーション	151件 (62%)	1998年
2	(株)クルーズクラブ東京	5件 (2%)	1990年
3	(株)ジールクルージング	55件 (22%)	1993年
4	(株)アーバンランチ	34件 (14%)	2007年
計	全4社	245件	

表2 調査概要 [筆者作成]

項目	概要
期間	2020年8月20日(木)~9月20日(日) 約1ヶ月間
対象	Web公開動画(全245件)のうち、事業に無関係な他のイベント動画や事業者の投稿目的が不明な動画を除いた「調査動画(全205件)」
内容	1) 「調査動画(205件)」を投稿目的や撮影対象個数(単一, 複合)の各視点で「単一撮影型」と「複合作型」に分類。 2) 1)のうち「単一撮影動画(159件)」を対象に、事業者がSNS等へ投稿した際のWebコメントをもとに「主対象」を選定する。 3) 「主対象」をもとに船舶・都市・航空機などの景観分類別に区別する。 4) 各動画の撮影対象となる景観要素を基にKJ法にてタイプ分類を行う。 5) 各タイプの編集構成と撮影方法を確認し、その特徴を分析する。

航行する自社船を撮影した動画であり、全159件中47件(29.6%)が該当する。この内、最も多い動画タイプは「海上通過型(21件)」であり、広大な海を大型客船が航行する様子を追跡撮影することで、大型客船の優雅さや海上ならではの開放感を同時に演出するものである。次に多いタイプは「河川・運河通過型(17件)」であり、河川沿いの桜並木や周囲の街並みを背景に、自社小型船が画面を通過する様子と周辺景観の美しさを同時に演出するタイプである。また、「出港・帰港型(9件)」は、小型船舶の出港または帰港の際に乗船関係者らが賑わう様子を固定撮影することで、動画視聴者の乗船への期待感を高める動画タイプである。

(2) 都市景観; これは、都市群やそのスカイラインを主対象や背景として撮影した動画であり、全159件中43件(27.0%)が該当する(表3)。この内、最も多いタイプは「都市イベント型(30件)」であり、都市群を背景に夜空に次々に打ち上がる花火(27件)などを固定撮影することで、花火の躍動感や都市群との一体性を演出するものである。次いで多い「都市群パノラマ型(13件)」は、水面越しの都市群を首を振るようにパノラマ撮影することで、スカイラインの広がり水面倒景が織りなす景観を演出する動画タイプである。

(3) 港湾・工場景観; これは、港湾施設等を撮影した動画であり、全159件中14件(8.8%)が該当する。撮影対象は「フレアスタック⁽¹⁾」や「赤灯台⁽²⁾」が各4件と最も多く、次いで「工場群」や「ガントリークレーン」が各3件であった。これら石油コンビナートから噴出するフレアスタックや地域の歴史性を体験できる赤灯台などを船舶で接近しながら撮影したり、ズーム撮影することで、噴出する炎の迫力や海風で揺らめく炎の美しさ、普段見慣れない港湾施設や工場群の存在感や歴史性を強調する動画タイプである。

(4) 航空景観; これは、普段見慣れない確度から航空

1: 日大理工・学部・まち 2: 日大理工・教員・まち

機を撮影した動画であり、全159件中14件(8.8%)が該当する。最も多いのは「頭上通過型(11件)」であり、航空機が頭上を近距離で通過する様子をジェット音とともに追跡撮影することで、航空機の迫力を演出するものである。また、「離着陸追跡型(3件)」は、空港施設を背景に、普段見慣れない海面越しに航空機が離着陸する様子を追跡撮影した動画であり、市街地では味わえない非日常性が体感できるタイプである。

(5) 橋梁景観；これは、橋梁を中心に撮影した動画であり、全159件中12件(7.5%)が該当する。最も多いのは「大橋梁通過型(9件)」であり、船舶で大橋梁下を通過しながら普段眺めることができない桁裏を追跡撮影することで、その非日常性が強調される動画である。このタイプは9件中6件とその多くが外出自粛期間に公開されており、外出機会の少ない視聴者へ向けたメッセージ性が伺えた。次に「小橋梁通過型(3件)」は、船舶で小橋梁下を通過しながら、頭上に迫りくる橋げたを見上げる様相を追跡撮影することで、船舶が低い橋をくぐる際の緊迫感を演出している。

(6) 自然景観；これは、桜の花びらや空を飛び交うカモメ等の自然景観を撮影した動画であり、全159件中11件(6.9%)が該当する(表3)。このタイプの主対

象は、水面に漂う「桜の花びら(5件)」や広大な空を飛び交う「カモメ(2件)」等、季節ごとの自然を撮影したものである。このタイプは11件中7件とその多くが外出自粛期間に公開された動画であり、乗船客がいる通常運航時には、撮影することが難しい季節ごとに変化する自然環境の季節感を演出した動画といえよう。

(7) 船内景観；これは、船内で開催されるイベントやその時の乗船者の賑わい、船内での豪華な料理などを撮影した動画であり、全159動画中9件(5.7%)が該当する(表3)。この動画タイプは、船内で開催されるアンサンブルやマジック等のイベントの様子や乗船者の賑わいに加えて、クルーズ時に提供される豪華な料理を撮影することで、クルーズツアーの楽しみ方やサービスの質の高さに期待感を持たせる動画である。

以上より、水上交通事業者の投稿動画を対象に、前述した7つの景観分類と12の動画タイプを捉えた。

補注；(1) フレアスタック：石油コンビナートや製油所などで出る余剰ガスを無害化するために焼却した際に出る炎のこと。(2) 赤灯台：横浜港の中央に現存する歴史的な灯台。正式名称は横浜北水堤灯台であり、明治29年から120年間、横浜港の安全を支えてきた施設。

参考文献；1) 水石知佳・岡田智秀・田島洋輔・落合正行：「東京港における海上からみた景観特性に関する研究—視距離と視角を用いた魅力分析—」, 第72回年次学術講演会講演概要集, Vol. 72, CD-ROM, 土木学会, 2017 / 2) 田島洋輔・岡田智秀：「東京臨海部における水上交通の魅力向上に資する海上景観の構図特性に関する研究」, 土木学会論文集B3(毎月開発)第76巻2号, pp. L917-L922, 2020 / 3) 田島洋輔・岡田智秀：「東京臨海部における水上交通の事業特性に関する研究—航路の変遷と事業形態の変化に着目して—」, 土木学会論文集D3(土木計画学)第76巻2号, pp. 156-167, 2020

表3 単一撮影型における動画タイプ別の編集構成と撮影方法等の特徴 (N=159件) [筆者作成]

景観分類 件数/割合	(1) 船舶景観 (47件/29.6%)			(2) 都市景観 (43件/27.0%)		(3) 港湾・工場景観 (14件/8.8%)	
動画タイプ	海上通過型	河川・運河通過型	出港・帰港型	都市イベント型	都市群パノラマ型	施設接近型	
件数/割合	21件/13.2%	17件/10.7%	9件/5.7%	30件/18.9%	13件/8.2%	14件/8.8%	
編集構成と撮影方法	ウォーターフロントならではの広大な海を背景として普段見慣れない大型船舶が通過する様子を追跡撮影することで、船舶の優雅さや周辺景観の美しさを演出する動画。	河川沿いの桜並木や運河沿いの美しい街並みを背景に、小型船舶が通過する様子を追跡撮影することで、自社船の概観に加えて、見学ポイントとなる周辺景観を演出する動画。	小型船舶が船着場を出港または帰港する際の、乗船者や見送る・出迎える人々の動きやその賑わいの情景を固定撮影することで、視聴者の乗船へ向けた期待感を高める動画。	広大な空を背景とした都市群と、夜空に次々に打ちあがる花火等の動きのあるイベントを固定撮影することで、都市群の花火等が織りなす一体的景観を演出する動画。	ウォーターフロントならではの広大な空を背景とした水面越しの都市群のスカイラインをパノラマ撮影することで、都市群の広がり水面倒景が織りなす海上景観を演出する動画。	港湾施設や工場施設に船舶で接近またはズーム撮影することで、普段見ることができないフレアスタックや港湾施設の歴史性などの非日常性を強調する動画。	フレアスタック：4件 赤灯台：4件(3件) 工場群・ガントリークレーン：各3件(3件)
主対象：件数 (外出自粛期間公開動画件数)	自社船：17件(7件) 大型船：4件	自社船 (桜や街並み越し)：17件	自社船：9件(1件)	花火：27件(4件) バルーン：3件	都市群：13件(3件)		
動画例							
景観分類 件数/割合	(4) 航空景観 (14件/8.8%)		(5) 橋梁景観 (12件/7.5%)		(6) 自然景観 (11件/6.9%)	(7) 船内景観 (9件/5.7%)	
動画タイプ	頭上通過型	離着陸追跡型	大橋梁通過型	小橋梁通過型	自然景観型	船内イベント・飲食型	
件数/割合	11件/6.9%	3件/1.9%	9件/5.7%	3件/1.9%	11件/6.9%	9件/5.7%	
編集構成と撮影方法	航空機が近距離で頭上を通過する様子を大きく描写し、迫力あるジェット音と共に追跡撮影することで、普段見ることができない航空機の迫力を演出した動画。	航空機が離着陸する様子を海面越しに追跡撮影することで、航空機の躍動感を演出しており、内陸の市街地では味わえない非日常性が体感できる動画。	船舶で大橋梁下を通過しながら普段眺めることができない桁裏を追跡撮影することで、大橋梁の複雑な構造形態や大橋梁の迫力を強調する動画。	船舶で小橋梁下を通過しながら、頭上に迫りくる橋げたを見上げる様相を追跡撮影することで、小型船舶が低い橋をくぐる際の緊迫感を味わえる動画。	桜の花びらが水面を漂う様子や広大な空を飛び交うカモメ等の自然環境を活かした動画。コロナ禍で撮影されたものであり、当時の静けさが分かる動画。	船内で開催されるイベントや利用者の賑わい、豪華な料理を撮影することで、クルーズツアーの楽しみ方やサービスの質の高さに期待感を持たせる動画。	
主対象：件数 (外出自粛期間公開動画件数)	航空機：11件	航空機：3件	ベイブリッジ：8件(6件) レインボーブリッジ：1件	運河橋梁：2件 河川橋梁：1件	桜の花びら：5件(3件) カモメ・鴨：各2件(3件) 波：2件(1件)	船内イベント：7件(4件) 飲食物：1件(1件) 展示物：1件	
動画例							

(注意) 景観分類別に動画を整理した際、9件についてはどの動画タイプにも分類できなかったため、合計動画数が150件となっている。